

会 議 の 状 況

令和6年度第1回青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会

1. 日 時 令和6年4月23日(火) 13:30~15:10

2. 場 所 東奥日報新町ビル 3階 催事場D

3. 出席委員 13名

4. 提出資料

資 料 1 原子力施設環境放射線調査報告書(案)(令和5年度第3四半期報)

資 料 2 原子力施設環境放射線調査報告書データ集(案)(令和5年度第3四半期報)

資 料 3 東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)令和5年度(第3四半期報)

資 料 4 東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)令和5年度(第3四半期報)
《報告書見直し案》

資 料 5 会議の状況

参考資料1 原子燃料サイクル事業の現在の状況について

参考資料2 東通原子力発電所の現在の状況について

参考資料3 リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

5. 概 要

(1) 議事

1) 原子力施設環境放射線調査結果について(令和5年度第3四半期)

ア 原子燃料サイクル施設

県及び日本原燃(株)から資料1により説明があり、次のとおり評価された。

- ・原子燃料サイクル施設に係る令和5年度第3四半期の環境放射線等調査結果は、これまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。

イ 東通原子力発電所

県及び東北電力(株)から資料1により説明があり、次のとおり評価された。

- ・東通原子力発電所に係る令和5年度第3四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。東通原子力発電所からの影響は認められなかった。

ウ リサイクル燃料備蓄センター

県から資料1により説明があり、次のとおり評価された。

- ・リサイクル燃料備蓄センターに係る令和5年度第3四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。

委員から、今回不漁のため採取できなかったワカサギや、生育不良で採取できなかったチガイソについて、代替魚種の候補を検討すべきではないかという意見があり、県から、モニタリングを安定的に実施するために情報収集を進め、採取頻度、採取時期について検討し、必要に応じモニタリング計画の改訂等も含めて対応する旨回答があった。

2) 東通原子力発電所温排水影響調査結果について(令和5年度第3四半期)

水産総合研究所から資料3により説明があり、今後も引き続き調査を継続し、データの収集に努めていくこととした。

(2) 報告事項

1) 温排水影響調査結果報告書の見直しについて

水産総合研究所から資料4により説明があり、温排水影響調査結果報告書の見直し案が示された。当該報告書に係る記載について、見直し案では、過去の調査結果との比較データが示され、温排水影響の有無についての評価が追加された。

委員から、各測定項目のバックグラウンドの値について、発電所の停止中の期間のデータのみを採用するのか、稼働中の期間のデータも含めるのか、考え方を整理すべきである旨意見があった。

また、委員から、報告書内の「過去の範囲内」と「同様の傾向」という表現の意味合いや使い方の違いについて質問があり、水産振興課から、現状は一部項目で整理できていない部分があり、今後整理していく旨回答があった。

(3) その他

1) 原子燃料サイクル事業の現在の状況

日本原燃(株)から参考資料1により新規規制基準への対応状況、各事業の運転状況等について説明があった他、トラブル等一覧について説明があった。

2) 東通原子力発電所の現在の状況

東北電力(株)から参考資料2により東通原子力発電所の運転状況、新規規制基準適合性審査の状況について説明があった他、安全対策工事完了時期の見直しについて説明があった。

3) リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況

リサイクル燃料貯蔵(株)から参考資料3により事業変更許可の取得及び工事計画の変更、貯蔵計画の変更の届出について説明があった。

委員から、参考資料2の東通原子力発電所1号機における津波対策の内容について質問があり、東北電力(株)から、今後のプラント審査に向けて各安全対策設備への耐震設計の評価等の対応が必要となること、また、低確率ではあるものの基準津波よりも大きな津波について、浸水を防護するための検討が必要となる旨回答があった。